

令和3年度 子ども大学そうか

1 実施体制

子ども大学そうか	学長	山路 朝彦（獨協大学学長）
	副学長	山本 好一郎（草加市教育委員会教育長）

2 事業内容

開催期間	令和3年7月17日～令和3年11月27日			
参加者数等	定員	34名	応募者数	87名
	参加者数	5年 23名	修了者数	5年 23名
		6年 11名		6年 11名

3 実施内容

1日目	開催日時	7月17日（土） A班9：20～10：40 B班11：20～12：40 （入学式 10：45～11：15）	
	会場	獨協大学	
はてな学	講義名	「フランス語で友達を作れるようになろう」	
	講師	獨協大学 外国語学部 フランス語学科 専任講師 G. ヴェスィエール先生	
手をあげて質問中			
2日目	開催日時	8月5日（木） 10：00～11：30	
はてな学	会場	稲荷コミュニティセンター	
	講義名	「地球儀の歴史と地球儀作り」	
	講師	（株）渡辺教具製作所 代表取締役 渡辺 美和子先生	
地球儀作成中			
3日目	開催日時	9月18日（土） 10：30～12：00	
はてな学	会場	高砂コミュニティセンター	
	講義名	「天文台マダムとワクワク星空たんけん！」	
	講師	サイエンスライター・ そうか市民大学講師 梅本 真由美 先生	
自分で作った星座早見盤で 星空観察のリハーサル中			

4日目	開催日時	10月16日(土) 10:00~11:30	
生き方学	会場	獨協大学	
	講義名	「大人になったらなにになりたい？自分に合う会社を選んでみよう！」	
	講師	獨協大学 経済学部 経営学科 准教授 大坪 史治 先生	将来の夢を発表中
5日目	開催日時	11月27日(土) 10:00~12:15	
はてな学	会場	高砂コミュニティーセンター	
	講義名	「火星たんけん物語をつくろう！ ～暗号解読編～」	
	講師	NPO 法人日本火星協会 新井 真由美先生	モールス信号発信中

4 新型コロナウイルス感染症対策（工夫した点や苦慮した点など）

- ・マイクなどは、除菌シートで拭いてから受け渡しをするため、質問時間等は通常より余裕をもって時間を設けてもらうようにしていた。
- ・備品を使いまわししないように自分で持参してもらうようにした。
- ・感染状況により、グループワークではなく一方向の講座形式にて講座を実施した。
- ・会話はできるだけ少なくするよう講座の組み立てを配慮した。

5 参加者の声

- 参加した子供の声（感想）
- ・意外とフランス語からきている日本語が多くあることが分かりました。またフランスでは相手の目と目を見て話すことにおどろきました。日本ではじっと見つめ合って話すことはあまりないと思うので知れてよかったです。
 - ・草加に日本一の地球儀があることに驚きました。
 - ・自分で星座早見ばんを作ったり、月面に立った人の数を知れてよかったです。ギリシア神話などについてもおもしろかった。自分の体で星の高さを測ることができると知っておどろいた。
 - ・経済とは何か今日、初めて知りました。仕事は深い所まできちんと考えて、選ばないといけないと分かりました。今回は大学生も来てくださり、とても楽しい時間となりました。良かったです。
 - ・この子ども大学そうかで宇宙のことや、フランス語、会社について色々なことが分かって学校とはちがう勉強の思い出ができました。

保護者の声(感想)

- ・大学の雰囲気を経験できて（身近に感じられて）良かったです。もっとこういった機会を増やしてほしいです。
- ・子どもで大学で受講したことについて子どもが熱心に話をしてくれました。
- ・興味をもった内容について、帰ってきてからさらにインターネットで調べていました。
- ・毎回楽しそうにお話をしてくれましたのですべてが良かったと思いました。